



井原市民病院 まいづる連携だより

平成 29 年 3 月 13 日

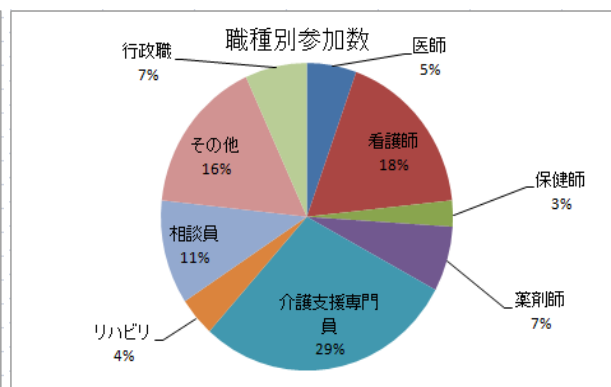
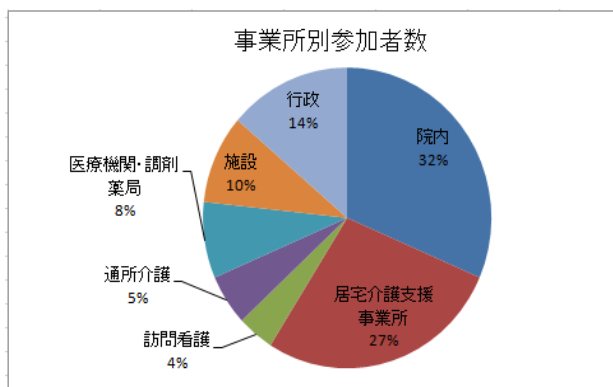
〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186 番地
井原市民病院内 地域医療連携室
TEL.0866-62-1133 連携室直通 FAX.0866-63-2840

第 26 回まいづる連携連絡会報告

今年度は、地域関係者との連携強化を目標に「まいづる連携連絡会」を実施しています。締めくくりの今回は、「真庭 10 年の活動」と題しまして、さくもとクリニック 作本修一院長による講演会を平成 29 年 3 月 13 日（月）18：30～19：50 井原市民病院、理学療法室で開催しました。

専門職だけでなく地域住民を巻き込んだ地域包括ケアシステムの構築に先駆けて取り組んでこられた真庭市の活動は大変貴重なお話となりました。住民の声に耳を傾け、何が必要か、何が自分たちにできるのかを多職種が一丸となって考え、行動していく姿勢は参考になったことと思います。このまいづる連携連絡会が意識統一の場、意見交換の場として活動できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、これからも皆様のお力添えをお願いします。

今回の講演会について



～講演会感想について（一部掲載）～

- ・いきなり多職種が参加して大きな活動を行うことは難しいので、真庭市のように年数をかけて少しずつ確実に賛同して下さる方を巻き込んでいくことが大切だと思いました。大変勉強になりました。
- ・医師会が率先して活動を行っていることが成功の秘訣だと思いました。どのように意識統一してきたのか教えていただきたいです。
- ・土地柄とはいえ地域住民も巻き込んでいく活動力がすばらしいと思いました。
- ・住民の参加、それが一番の地域ケアシステム構築の鍵かもしれません。よりよくしよう、地域で生活しやすい体制を作ろうという意識を市全体で高めていく必要があると思いました。
- ・認知症の方の支援や独居の方の支援が難しく、ケアマネジャーだけでは限界なので地域全体で見守りを行う体制作りが大切だと思いました。
- ・地域でのシートが役に立つと思いました。井原市でも是非取り入れてもらいたいです。

・新しい提案だけでなく、事業が軌道に乗ったら振り返りを行うことが必要と思いました。行政が突き進むのではなく、きちんと住民の声を聞き、問題点があれば改善していく姿勢が大事だと感じました。真庭市のように個々体が別々の行動をするのではなく、一丸となってすすめていければ井原市も住みやすい地域になると感じました。



事務局の連絡事項および次回の連絡の案内について

日 時：平成 29 年 5 月 12 日（金） 18：00～19：00

テーマ： 『認知症予防対策における運動の重要性』

講師：岡山大学病院 神経内科 菱川 望 先生

『認知症予防体操の解説・実演』

講師：日本アーユルヴェーダスクール講師 高橋 依子 先生

理学療法室にて開催予定

作本先生の講演でも紹介された認知症予防体操です。

開催曜日が金曜日となっておりますので、お間違いのないようお気をつけください。

実際に認知症予防体操を体験しますので、動きやすい服装でご参加ください。